

パネル 2013年度せんだいメディアテークでの企画

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): Tohoku Gakuin University 作成者: 東北学院大学文化財レスキュー班 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/362

牡鹿半島のくらし展 in 石巻 開催

パネル作成：阿部千賀子
伊藤瑞穂
櫻井かほり

◎ 概要

2013年11月3日(日)、4日(月)に石巻市の宮城県慶長使節団ミュージアムサンファン館で「牡鹿半島のくらし展 in 石巻」を開催しました。

サンファン館は、仙台藩主伊達政宗の命を受け、ヨーロッパへ航海した支倉常長をはじめとする慶長遣欧使節に関連した展示をしている博物館です。

震災から約2年8ヶ月をかけて修復作業が終了し、再開館を果たしました。また、慶長遣欧使節団がサン・ファン・バウティスタ号という航海船で出帆して400年という記念すべき年であることもあり、2日間にわたって盛大にイベントが催されました。東北学院大学もその1つとして「牡鹿半島のくらし展 in 石巻」を開催し、活動を紹介するとともに聞き書き調査をおこないました。

◎ 本番の様子

展覧会初日は、開館前にまず展示会場へ資料を搬入し、会場設営をおこないました。私たちが資料を展示していた場所は、復元されたサン・ファン・バウティスタ号に乗船した来館者が本館に戻るルート上にあつたため、大勢の来館者に私たちの展示を見ていただくことができました。展覧会で私たちは、来場してくださった方々に展示してある資料を話のきっかけとしながら、聞き書き調査をおこないました。

◎ 聞き書きによって得られたデータ

タコ捕り具を手に取りながら、使う餌やタコを捕るコツを教えてくれた元漁師の男性や、父親が唐箕を作る職人だったと語る女性がいました。中には自分も民具を収集するのが好きで、似たようなものを持っていると話しながら、興味深そうに見学をしていく方の姿もありました。

聞き書きにご協力してくださった方の中には、展示資料を見ながら思い出を語ったことで、懐かしさを感じられた方もいました。私たちは調査として聞き書きをおこなっていましたが、「懐かしい思い出にさせてくれてありがとう」と感謝されることもありました。これらのような聞き書きした内容は、後日仙台に戻ってから聞き書きシートにまとめました。



来場者でにぎわう様子